

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年3月13日

事業所名 こどもくらぶガジュマール

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2		プログラムに応じて、内外の活動を取り入れ、工夫しております。	利用人数が多い日にはスペースが手狭に感じるときがあります。
	2	職員の配置数は適切である	5	1		職員の良さを活かすために、幅広い年齢で支援しております。	プログラムに応じてゆとりある職員配置を実施したり、適切に職員配置をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1			現在は対象児童がおりませんが、対象児童が通所する際は事前に施設内環境を確認し、検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	2		普段から意見を出しやすい雰囲気づくりをしています。	日々の職員ミーティングや月1の職員会議にて、必要な情報を共有して業務改善を図っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			子どもを預けたい事業所になっているか。と考えて療育支援を行っています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			これまでも継続してホームページにアップしているのですが、今後も継続して公開していきます。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1		一時期には入ってもらってしております。	必要に応じて入ってもらっていますが、固定するように提案しております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			今後も資質向上のため、職員研修を充実させていきます。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			日頃より、保護者様とのやり取りの中で情報を共有して計画書に反映しておりますので、今後も継続していきます。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2		標準化されたアセスメントを使用しております。	必要に応じて、アセスメントを取り直したり、よりよいアセスメントツールを検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			月1の職員会議にて、季節行事なども取り入れた活動プログラムの立案をおこなっています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			利用者様のワクワク、ドキドキを大事に、活動プログラムを考えています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1		始業後にその日の利用人数や活動プログラム内容、支援や送迎について職員間で確認していますが継続していきます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	3		○帰りの送迎終了後、職員間でその日の児童の様子や気になった点など必要な情報を共有しています。 ○職員の勤務時間帯により振り返りができない日もありますが、気になることは記録に残しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			日々の支援記録を残し、支援の検証・改善に努めています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				必要性に応じて、個別支援計画の見直しをしています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			職員全員の意見をまとめて、ふさわしいものが参加しております。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1		学校の送迎時に、学校での出来事や申し送りなど先生に確認したり、事業所での様子について共有しています。	これからも事業所への送迎時に、学校での出来事や申し送りなど先生に確認したり、事業所での様子について共有していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	2			対象となる医療ケア児童がいらないため連携を図っていないが、その際は主治医などと連携して支援していくことを心掛けます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6			必要に応じて、連携会議開催したり、連携に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		5	1		対象児童がいらないために連携を図っていないが、必要に応じて対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1		研修内容などを確認しながら研修へ参加しています。	研修内容などを確認しながら研修へ参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6			子ども食堂との交流を実施しています。	みんなの家との交流を持ったりしている。インフルエンザならびにコロナが流行しているため落ち着いたら児童とも交流を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5	1		できるだけ参加するように、心掛けています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			日頃より、帰りの送迎のときや随時LINE活用しながら共通理解するように努めています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		6		ペアレント・トレーニングまでは取り組めていないが、保護者様のお話を聞いて助言しています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			契約の際に丁寧に説明を行っております。	今後も丁寧に説明を継続していきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			日頃の帰りの送迎のときや、関係機関会議の中で子育てに関する悩みを確認しながら、必要な助言、支援を考えております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2	1		コロナで実施できなかったが、講習会時の自然な交流を大切にしています。コロナが落ち着きそうですので、次年度に保護者会を開催していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			・送迎時や電話などで保護者様の思いを傾聴を心がけ、必要に応じて迅速に助言を行うようにしています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			・月の行事予定などを毎月配布したりしています。	LINEを活用して活動プログラムの写真を保護者に送信して様子を知らせたり、必要な連絡をとっている
	35	個人情報に十分注意している	3	2	1	・外部講師を呼んで事業所内研修を実施しています。	個人情報が書かれたファイルや書類が机の上に置っぱなしになっているときがあり、職員全員が個人情報を扱っているという認識を持たなければいけない
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			・その子の特性を理解して接するように努めています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6			・コロナ禍によって、地域との関わり方も大切に(こどもたちも)している為、また知ってもらうために役所の方へ作品を飾るなどを今年も行った。	受け入れ人数を制限しながら、子ども食堂さんとの交流を図ったり、地域の方の事業所見学を受け入れたり、また沖縄大学学生さんの職業体験受け入れを行っています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	1		マニュアルを作成しているが、その内容について詳しく把握できていない職員もいるので、周知文書の閲覧など、周知方法を考えていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			・地震訓練、津波訓練に取り組みました。	今後も継続して取り組んでいきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			・外部の虐待防止研修へ参加しています。また虐待防止委員会を創設して話し合いを実施し、内部研修を行っています。	・今後も来年度の研修計画へ取り入れていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6				・対象となる利用者様がいらしゃらないために対応しておりませんが、対象となる利用者様がいらしゃる場合には必要に応じて連携して対応していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6				・対象となる利用者様がいらしゃらないために対応しておりませんが、対象となる利用者様がいらしゃる場合には必要に応じて連携して対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			・情報共有を図っており、振り返りも実施しています。	今後も継続していきます。